



ファームウェアバージョン:	DES-1210-08P	4.11.B040
ハードウェアバージョン:	DES-1210-08P	C1、C2
発行日:	2017/12/15	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード時の注意事項：	2
アップグレード手順：	2
追加機能：	7
MIB および D-View モジュールの変更点：	7
修正した問題点：	7
既知の問題：	8

## 変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
4.11.B040	2017/12/15	DES-1210-08P	C1、C2

変更履歴	
2017/12/15	初版リリース
2018/1/5	既知の問題を追加

## アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

## アップグレード手順：

### CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。  
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。  
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。  
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download { firmware_fromTFTP   cfg_fromTFTP } {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename>	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

## 5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

### (1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DES-1210-08P> download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 DES-1210-08P-C2-4-11-B040.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

```
Image Updated Successful
```

※ スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

### (2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DES-1210-08P> show switch
```

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 0 hrs, 0 min, 26 secs
System Time	: 01/01/2013 00:00:15
System hardware version	: C2
System firmware version	: 4.11.B040
System boot version	: 1.00.009
System serial number	: QBBH3EC000001
MAC Address	: 3C-1E-04-F0-BD-04

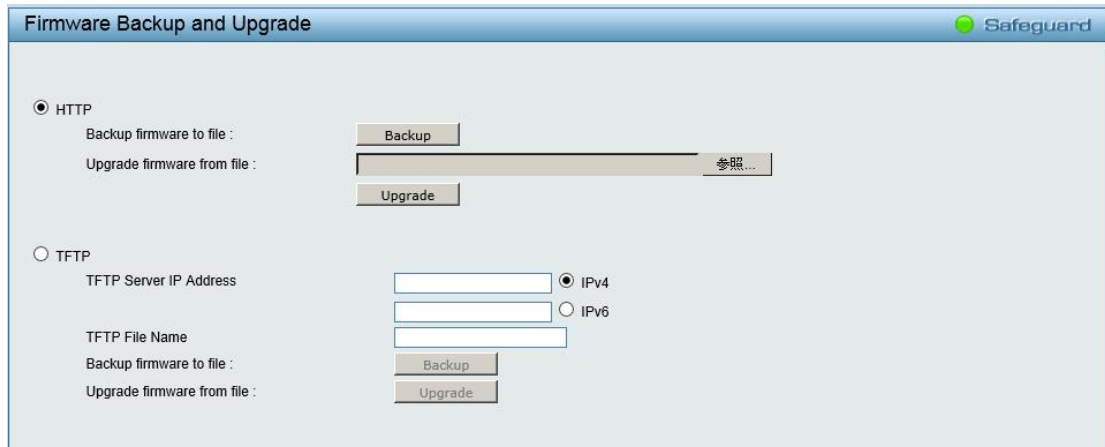
**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

## Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。  
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90  
デフォルトのログインパスワード：admin
3. Tools メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。



**HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

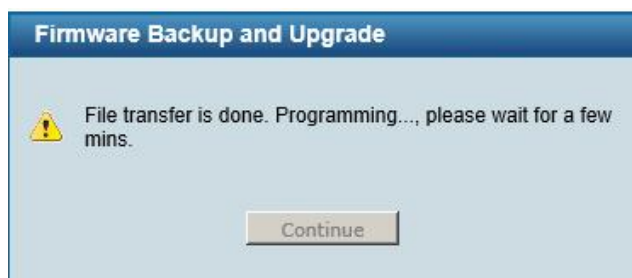
- (1) [HTTP]にチェックをいれます。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。

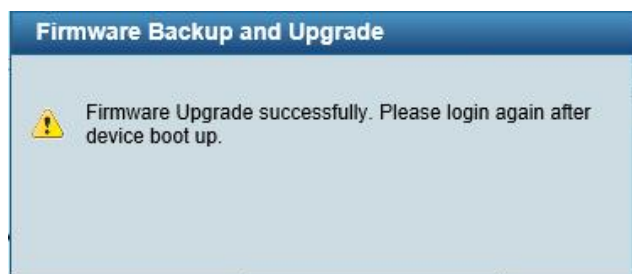


- (5) ファームウェアのアップグレードが開始します。  
以下の順で画面が表示されますのでそのままお待ちください。



**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (6) 以下の画面が表示されるので、デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

**TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]と[TFTP File Name]を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。  
アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

## 追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.11.B040	特になし

## D-View モジュールおよび MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	MIB	変更点
4.11.B040	—	特になし

ファームウェアバージョン	D-View モジュール	変更点
4.11.B040	—	特になし

## 修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
4.11.B040	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Kaspersky により WEB UI がブロックされる問題を修正致しました。</li> <li>2. DNA を使用して IP 設定を行う際、32 ビットマスクの IP アドレスの設定を受け付ける問題を修正致しました。</li> <li>3. MLD スヌーピングに“Reports to all ports”オプションを追加致しました。</li> <li>4. VRRP IP に対して Ping を送信できない問題を修正致しました。</li> <li>5. SNMP counter64 が正しく動作しない問題を修正致しました。</li> <li>6. Port Description で設定した値が SNMP で正しく取得できない問題を修正致しました。</li> <li>7. ACL に設定した VLAN ID が保存されない問題を修正致しました。</li> <li>8. LLDP-MED の状態が正しく表示されない問題を修正致しました。</li> <li>9. SNMP コミュニティ名で特殊文字「!」に対応致しました。</li> <li>10. Daylight Saving Time を有効化している場合に、サマータイム終了時に正しく時刻が調整されない問題を修正致しました。</li> <li>11. リンクアグリゲーショングループに対して正しく VLAN が設定できない問題を修正致しました。</li> <li>12. Blat Attack 項目のチェックボックスが表示されない問題を修正致しました。</li> <li>13. PoE 有効化/無効化の設定変更が再起動後に保持されない問題を修正致しました。</li> <li>14. SNMP Group の設定を削除できない問題を修正致しました。</li> <li>15. Mac OS 10.12 において WEB UI に接続できない問題を修正致しました。</li> <li>16. LACP 構成において、リンクダウン時にパスコスト値が正しく更新されない問題を修正致しました。</li> <li>17. IGMP パケット受信時に CPU 使用率が高くなり、Telnet 接続と WEB UI 接続において、通信が遅くなることがある問題を修正致しました。</li> <li>18. 互換性のないファームウェアをダウンロードできてしまう問題を修正致しました。</li> <li>19. 通信が不安定となる問題を修正致しました。</li> <li>20. マルチキャストパケットが正しく送信されない問題を修正致しました。</li> </ol>



21. 初期設定構成において、ISIS の通信がフィルタされる問題を修正致しました。
22. Asymmetric VLAN を設定していると、Dynamic Forwarding Table が表示されない問題を修正致しました。
23. Reboot System 画面において、再起動前にコンフィグの保存を確認するメッセージを表示するように修正致しました。
24. RADIUS 認証キーに特定の記号が含まれている場合、エラーが発生する問題を修正致しました。
25. 特殊な構成を組むことで、ネットワークが不安定になる問題を修正致しました。
26. Voice VLAN List に音声デバイスが表示されない問題を修正致しました。
27. 日本語 WebUI でいくつかの文言を修正致しました。
28. TCP 排他制御に関する問題を修正致しました。

## 既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
4.11.B040	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. SSH User Authentication に不正な文字列を入力した場合に、Web 画面上はエラーとなるが MIB ではパスする問題。</li> <li>2. ループバック検知をグローバルで無効化した場合であっても LACP でポートの追加が不可となる問題。</li> <li>3. Web 画面と MIB の Port Description 設定において、不正な文字列による不整合が発生する問題。</li> <li>4. rmonHistory Interval について、MIB の説明に誤りがある問題。</li> <li>5. Private MIB において、SNTP Table Server Address の IP タイプが誤って表示される問題。</li> <li>6. Private MIB において、DHCP Server Screen Trusted Server Address の IP タイプが誤って表示される問題。</li> <li>7. システム稼働後、SNMP ホストに対して warm start トラップが送信されない問題。</li> <li>8. OID 情報が一部取得できない問題。</li> <li>9. DHCP 確認要求を転送する RFC-2131 に準拠していない問題。</li> <li>10. DHCPv6 が T1(Renew)と T2(rebind)機能をサポートする RFC3315 に準拠していない問題。</li> <li>11. ループバック検知機能のプライオリティが 802.1x 認証インタフェースより低い問題。</li> <li>12. DHCP リレーが無効化されている場合、IP ACL の拒否ルールで DHCP パケット (UDP ポート 67) が破棄されない問題。</li> <li>13. DHCP クライアントを有効化し、WebUI を通じて設定を再度適用すると、DHCP リクエストパケットが転送されない問題。</li> </ol>

Copyright 2006-2017 D-Link Japan K.K.